

閣副安危第 81 号

平成 24 年 2 月 15 日

各府省庁情報セキュリティ担当課室長あて（注意喚起）

情報セキュリティ対策推進会議オブザーバー機関情報セキュリティ担当課室長等あて（情報提供）

内閣官房情報セキュリティセンター

内閣参事官（政府機関総合対策促進担当）

検索サイトを悪用した政府サイトを騙る事例に関する注意（注意喚起）

政府機関に成りすましたウェブサイトが検索サイトに表示される等、検索サイトを悪用した行為に対処する必要があります。このような行為を放置しておく、政府機関の信用を損なうだけでなく、国民が誤って不正サイトに誘導され、不正なソフトウェアに感染する恐れがあります。このような事例への対策、職員への注意喚起を行うようお願いいたします。

記

1. ウェブサイト担当職員への注意事項

- ① 成りすましサイトを排除することは困難なため、当該サイトを早期に発見し、検索サイト業者への対応を求めることが必要

- 自組織のウェブサイトに関するキーワード（※1）でウェブサイトを定期的に検索し、検索結果をモニタリングする。もし、検索結果に不審なサイトが存在した場合は、速やかにその検索サイト業者へ報告する（※2）。

（※1） 検索キーワードの例（いずれも日本語と英語）

- ・ 組織名、部局名
- ・ 大臣名、幹部名
- ・ 会議体名
- ・ 政策名

（※2） 主要な検索サイトの問い合わせフォーム

- ・ [Bing（日本マイクロソフト社）の問い合わせフォーム](#)

<https://support.discoverbing.com/Default.aspx?&st=1&wfxredirect=1>

サイト内の「標準のサービス」より「Bing」を選択すると、問い合わせフォームに遷移する。

- Yahoo! JAPAN (ヤフー社) の問い合わせフォーム

<http://help.yahoo.co.jp/help/jp/search/search-30.html>

サイト下部の「Yahoo 検索 - 検索結果に関する情報提供フォーム」より、問い合わせフォームに遷移する。

- Yahoo! (Yahoo! Inc.) の問い合わせフォーム

<http://help.yahoo.com/>

サイトから「Search」をクリックし、遷移したサイト右下の「How can we help?」より「Contact Yahoo!」から、問い合わせフォームに遷移する。

問い合わせフォームで、「Select a product」から「Search」、「Select a category」から「Abuse and spam」、「fake or spam site found in search results」を選択する。

※ 「Yahoo! JAPAN (www.yahoo.co.jp)」と「Yahoo! (www.yahoo.com)」では、使用している検索エンジンが異なるため、双方の確認が必要。

- 不審なサイトを確認した場合は、検索サイト業者に事実を確認の上、自組織内と NISC 等の関係部署に情報を告知する。もし、不正サイトであることが明らかかな場合は、誤って不正サイトにアクセスすることを防ぐため、不正サイトの FQDN (Fully Qualified Domain Name : 完全修飾ドメイン名) や IP アドレスを指定したフィルタを設定する様に、関係部署へ依頼する。
- 利用者からの通報に対して適切に対応できる体制を整える。(自組織のウェブサイトに問い合わせ先を明記する等。)

② 成りすましのサイトが容易に正規のサイトと逆転して検索結果の上位に表示されないよう、正規サイトについて適切なメタタグを導入することを推奨

- メタタグの例

[meta description タグ]

サイトの内容を示す説明文を記述するメタタグ。

【設定例】

```
<meta name="Description" content="ここにサイトの概要を記述する" />
```

○記述上の注意点

- ・ サイト内の全ページを通して一意の内容とする。
- ・ 検索キーワードを含めた説明文や概要文を記述する。
- ・ 文字数は全角 110 文字（220 バイト）程度に抑える。

[meta keywords タグ]

サイトの内容に関連のあるキーワードを記述するメタタグ。

【設定例】

```
<meta name="Keywords" content="キーワード1, キーワード2, キーワード3,  
キーワード4, キーワード5, キーワード6" />
```

○記述上の注意点

- ・ サイト内の全ページを通して一意の内容とする。
- ・ それぞれのキーワードは「,」（カンマ）で区切る。
- ・ 記述するキーワード数の上限は 3～10 語程度とする。

2. 一般職員への注意事項

- キーワード検索の結果を疑わずにウェブサイトへアクセスするのではなく、検索結果に表示される URL（図 1、図 2 に例示）を確認し、信頼性のあるウェブサイトであるか注意してから閲覧する。もし信頼性のあるウェブサイトの URL でない場合は、安易にアクセスしない。



図 1. 検索結果に表示される URL (Yahoo! JAPAN の例)



図 2. 検索結果に表示される URL (Bing の例)

- 固有名詞等のように、公式サイトが上位に表示されるべきキーワードで検索した結果、公式サイト以外のウェブサイトが上位に表示されている場合は、安易にアクセスしない。
- もし不正サイトを閲覧し、不正なソフトウェアに感染した可能性がある場合は、「利用した端末における全ての通信を遮断するため LAN ケーブルを抜く」、「利用した端末の電源は落とさずそのままにする (※3)」といった対応の上、

課室情報セキュリティ責任者に連絡し、指示に従う。

(※3) 次回の端末起動時に活動を開始する不正ソフトウェアの可能性があるため。

なお、以上の内容はいくつかの検索サイト業者の協力により作成しておりますが、協力が得られていない検索サイト業者もあります。このため、検索サイトによっては、当てはまらない情報も含まれておりますので、ご注意ください。

以上

本件問い合わせ先
内閣官房情報セキュリティセンター
政府機関総合対策促進担当
福永、小宮山、大谷
(03-3581-3959)